



INHERITED PATIENCE 女子サッカー部報告 INHERITED PATIENCE

3年生卒業パーティー

1期生14人が卒業

演劇を演出し3年間を振り返る

1月18日(日)大阪市内ホテルで大阪桐蔭高校女子サッカー部3年生卒業パーティーが行なわれた。設立に尽力をつくした男子チームの永野監督、日ごろお世話になっているトレーナーの平沢先生と井上先生、スペランツァFC高槻の名物サポーターのエイジさんを招き3年間の感謝を込めて3年生保護者会が主催した。

第1期生が卒業した。3年生はこれまでの足跡を演劇で表現、笑い、涙、感動のこれまでの軌跡が正確に再現された。1年生、2年生は歌でお礼を表現し今年3年生が達成できなかった全国大会出場を誓った。



卒業生から送られた横断幕

3年生は一人一人が保護者にこれまでものお礼を涙を浮かべながら述べ、感動のシーンが見られた。最後には卒業生から「魅せるサッカー」の横断幕が在校生に送られた。これはこれからずっとこのポリシーをもってサッカーに打ち込んでほしいというメッセージだ。

日本代表候補合宿に 村川が参加

3年生の村川紗貴が今年8月1日から中国で行われる「AFCU-19女子選手権予選(監督佐々木則夫)」に参加する代表候補合宿に召集された。2月9日から15日まで福島県Jヴィレッジで行われた。サッカー部で初めて選出された代表候補となる。是非日の丸をつけて活躍する選手になってもらい

たい。

大阪高体連新人戦

準決勝で敗退

平成20年度大阪高校新人大会は2月8日金剛高校で行われ星翔高校に0-1で敗れ2年連続優勝を逃した。
◇準決勝(2月8日、大阪金剛高校)35分ハーフ(カッコは前半のスコア)
大阪桐蔭高校0-1(0-0)星翔高校
【得失点】後半 10分失点

今季星翔とは大阪高校秋季大会で11月に対戦し4-2で勝利していた。さらに12月の大阪女子選手権でもエンジチームが4-0で勝っていたため油断があった。前半得点チャンスはあったものの、決めきれず無得点のまま後半に持ち越された。今までの星翔とは違いつてもプレッシャーが厳しく、あまりボールをキープできなかった。後半開始10分、星翔高校14番にDFの裏のスペースを突かれGKと1対1となり先制点を許してしまった。この失点でプレーに焦りが見られるようになり本来のつなぐサッカーが発揮できなくなった。守備ラインでもミスが目立ちリズムに乗れないまま終了した。

昨年は長居競技場で大商学園と決勝で戦い接戦をものにし優勝しただけに、

全くいいプレーが出来ないまま敗れたことに悔いが残った。

親子サッカーで楽しく交流

1月25日保護者と選手と一緒にサッカーを楽しむ「親子サッカー大会」が行われた。いつも選手が行っているウォーミングアップをいっしょに行っただけでお父さん、お母さんはすでにバテバテ状態。ストレッチではかた〜い体に四苦八苦、ブラ体ではリズム感のなさにテンヤワンヤと始まる前から大騒ぎとなった。

本番の親子対抗サッカー大会はフットサルと全面試合で対決。お父さん



親子の対決いかに？

たちは選手に負けにくいぐらいの元気でプレーをし、選手たちも負けじとプレーをしたものの子供に負けてなるものかと必死になればなるほど気持ちばかり先走り、すってんころりん!!!大丈夫〜???と心配することもしばしば……



笑顔で卒業していく1期生。これからの活躍に期待です。